

硬膜外麻酔による手術を受けた患者さんへ

地方独立行政法人大牟田市立病院では、受診時に患者さんから取得された診療情報等を使用して下記の研究を行っています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ先までご連絡ください。
また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。本件研究の対象者に該当されると思われる方またはその代理人の方で診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は、問い合わせ先までご連絡ください。なお、その申し出は研究成果公表前までとなりますのでご了承願います。

研究課題名	完全リアルタイム超音波ガイド下胸部硬膜外麻酔の実施可能性に関する後ろ向き観察研究
研究責任者	地方独立行政法人大牟田市立病院 麻酔科 責任者名：上瀧 正三郎
研究の目的と意義	<p>硬膜外麻酔は、胸腹部手術の術後鎮痛に用いられます。なるべく1回の穿刺で行いたいのですが、体型や背骨の変形により手技が難しい場合があります。最近、超音波ガイド下に行う穿刺の有効性が報告されています。</p> <p>本研究では、超音波ガイド下で行う穿刺をより安全にできる可能性があるシリンジを用いた硬膜外穿刺の実現可能性および成功率、安全性を評価することを目的とする。</p> <p>* この研究は、大牟田市立病院倫理委員会臨床研究専門部会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。</p>
調査データ 該当期間	2024年8月から2025年7月までの情報を調査対象とします
研究の方法 (使用する試料等)	<p>●対象となる方 受診科：地方独立行政法人大牟田市立病院 消化器外科、泌尿器科、産婦人科 対象者：超音波ガイド下リアルタイム硬膜外麻酔による手術を受けた方 「超音波ガイド下リアルタイム硬膜外麻酔手技に関する研究-ランダム化比較研究-」で研究参加に同意し、超音波ガイド下リアルタイム硬膜外麻酔群に割り付けられた方</p> <p>●研究の実施期間 病院長の研究実施許可日から2026年12月1日まで</p> <p>●利用する情報 電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します ・年齢・性別・身長・体重・病歴・画像データ・有害事象など</p>

<p>情報の保護</p>	<p>研究に関わる関係者は、対象となる患者さんの個人情報およびプライバシーの保護に最大限の努力を払い、本研究を行う上で知り得た個人情報を漏らすことはありません。</p> <p>対象となる患者さんの個人情報は、個人情報が特定できないように加工を行い、その個人情報を復元できる情報（対応表）は、研究責任者が保管します。</p>
<p>外部への情報提供</p>	<p>外部への情報提供は行いません</p>
<p>利益相反</p>	<p>本研究の実施にあたり特定企業との利害関係はありません</p>
<p>試料・情報の提供の辞退に関するお申し出先・お問い合わせ先</p>	<p>地方独立行政法人大牟田市立病院 研究責任者：上瀧 正三郎（麻酔科） 電話：0944-53-1061（平日 9時～16時）</p>
<p>備考・その他</p>	